

## 吉田ゆみこさんを 応援します

### 島袋善弘

山梨県立大学名誉教授



生活者ネットは食・子育て・介護・環境などを生活の場から考え、人権が保障される平和な社会をつくることをめざしています。生活者ネットの議員は私たち市民が候補者を選び、市民とともに考える議員です。民主主義の理想のかたちをめざしています。

### 森田明美

東洋大学社会学部教授  
子どもの権利条例東京  
市民フォーラム事務局長



### 山口二郎

法政大学教授



### 南部義典

シンクタンク「国民投票広報機構」代表

### 中川李枝子

作家

### 竹村英明

脱原発政治連盟「緑茶会」代表

### 堀 利和

視覚障害者  
元参議院議員

### 土谷雅美

生活クラブ生協東京  
理事長

### 山内れい子

東京・生活者ネットワー  
ク都議会議員

### 北野富江

元区議会議員

### 三村りつ子

元区議会議員

### 市川和子

元区議会議員

### 井上八重子

品川・生活者ネットワー  
ク代表/前区議会議員

## 吉田ゆみこプロフィール

■ 1954年 品川区生まれ ■ 77年 学習院大学法学部卒業 ■ 92年 食の安全を求めて生協に加入 ■ 97年～ 2006年 生活クラブ支部委員長、理事、23 区南生活クラブ理事長 ■ 07年～ 生活クラブ東京理事長、市民風車「夢風」建設プロジェクトメンバー、生協や漁協が全国規模で活動する協同組合せっけん運動連絡会代表幹事 ■ 11年～ 原発都民投票条例直接請求の請求代表者として都議会総務委員会で意見陳述に立つ。親の介護を経験し制度の不備を有感、医療・介護制度調査、空き家・空き店舗調査などに取り組む ■ 15年 品川区議会議員初当選。会派・品川・生活者ネットワーク幹事長。総務委員会、オリンピック・パラリンピック推進特別委員会、廃棄物減量等推進審議会、議会改革検討会 ■ 18年 会派政調会長。総務委員会、廃棄物減量等推進審議会、議会改革推進会議、広報会議に所属、土地開発公社評議員、東京コミュニティパワーバンク理事

- 趣味: 読書、ウォーキング、植物を育てること
- 家族: 子ども2人は独立、北品川在住



<http://yoshidayumiko.seikatsusha.me/>

吉田ゆみこ

検索

**生活者ネット**  
**3つのルール**

- 1 議員報酬は市民の政治活動資金に**  
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開します。
- 2 議員は交代制(ローテーション)**  
議員は最長でも3期12年で交代し、議員を職業化、特権化しません。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**  
みんなで知恵や力を出し合い、選挙を行います。

カンパ振込先 郵便振替口座 00130-9-161299  
品川・生活者ネットワーク

## 品川・生活者ネットワーク

品川・生活者ネットワーク news no.111 (東部版)  
発行: 品川・生活者ネットワーク 発行日: 2018年12月25日  
発行責任者: 井上八重子  
連絡先: 〒142-0043 品川区二葉 1-10-11 TEL03-5751-7105  
shinagawa@seikatsusha.net <http://shinagawa.seikatsusha.me>



# よしだ

品川・生活者ネットワー  
ク区議会議員

# 吉田

YOSHIDA YUMIKO

# ゆみこ

●品川・生活者ネットワー  
ク吉田ゆみこの活動を紹介します。

少子高齢化にともなう子ども家庭・高齢者世帯の孤立化や、格差問題が深刻化しています。ここ品川区でも、市民の暮らしに内在する問題や地域課題に応じた包括的な支援体制づくりが喫緊の課題となっています。いのちと暮らしが脅かされている今こそ、地に足のついた生活重視の政策を地域から打ち出し、国や都をリードしていくことが求められます。

「ひとりにしない子育て・介護 支えあい分かちあう地域共生社会へ」吉田ゆみこは、誰もが自分らしく暮らせる環境福祉優先のまち品川を実現するために、2期目に挑戦します。



# 吉田ゆみこの提案

“人権・環境・平和” 支えあい分かちあう地域共生社会へ



羽田低空飛行は白紙撤回！原発ゼロ／減災のま  
ちづくりへ

- ・放射能から子どもを守る
- ・品川発！持続可能な地域エネルギー計画をつくる

## 食を守り育てる

- ・食農共育を進める
- ・消費者教育を進める

## 福祉・介護・医療の連携で安心の地域をつくる

- ・高齢者・障がい者の在宅生活を支える機能をつくる
- ・移動の確保、居場所の創出で高齢者、障がい者の社会参加を保障する
- ・世代を超えてみんなが集う場を増やす

## 障がいの有無に関わらず、ともに暮らせるまちを実現する

女性や若者の雇用と社会参加で、地域社会を豊かに

- ・若者や女性の起業、市民事業やNPOによる雇用の創出を支援する
- ・障がい者が主体的に働く「社会的事業所」をつくる

## 多様性を認めあう「ジェンダー平等社会」を実現する

子どもが輝くまちへ！品川子どもの権利条例をつくる

- ・いのち暮らし・遊び・学び、子どもが輝くまちをつくる
- ・障がいがあってもなくても共に学びあう学校をつくる
- ・子どもの権利を守るまちをつくる

## 防災・減災対策は福祉と環境優先で

- ・地域防災は、福祉の視点と

国政では公文書の管理の不適切さがたびたび問題になっています。が、品川区にも同様の問題があります。「管理」もさることながら、どのような文書を公文書として作成すべきかの定めがきちんと制度化されていません。

私は、もっと市民が政治に関与すべき、そのための環境整備をと主張してきました。例えば福祉や教育に関する具体的な制度は、多くの市民が議論に参加しながら制度を練り上げ、施行後も点検に参加していくべきです。そのためには、適切に作成された行政情報が適正に公開されていることが必須です。市民への情報提供は民主主義の第一歩であり根幹でもあります。

政策決定過程を検証するために情報公開請求をすることがあります。結果が非公開、あるいは一部非公開とされた時に、不服請求をすることができますが、品川区はその手続きや審査会に至るフローを公表していません。こういった制度を活用することは、「市民の知る権利」の保障につながり、区は公文書を適正に管理

せざるを得なくなります。

吉田ゆみこは、私たちの「知る権利」を保障するために、「(仮称)品川区公文書管理条例」制定をめざします。



“知る権利”を保障する、「公文書管理条例」制定をする  
大事なこととは市民が決める！



羽田低空飛行計画の撤回を求める署名行動で、マイクを握る吉田ゆみこ。大井町駅、2017年1月22日

## Information

### 2019 政策発表集会

「つくろう！地域共生社会のしくみ」

■ 2019年2月3日(日) 14:00 ~ 16:00

■ きゅりあん(品川区立総合区民会館)第2講習室(5F)  
大井町駅徒歩1分

1部 講演「政治の今を読む」

福嶋浩彦さん(中央学院大学教授/元我孫子市長)

2部 品川・生活者ネットワーク2019政策発表

(田中さやか・吉田ゆみこ) / 市民活動リレートーク

\*連絡先 TEL03-5751-7105 / shinagawa@seikatsusha.net

女性の参加で！  
利益優先の再開発から生活重視のまちづくりへ転換

## 大事なこととは市民が決める

- ・公共施設の再編整備は住民参加(主体)で
- ・自治の力を活かす！まちの憲法「自治基本条例」をつくる
- ・議会への市民参加をすすめる
- ・議会を熟議の場！「議会基本条例」をつくる

## 憲法を活かし、人権・平和を守る社会を地域からつくる

持続可能な環境を次世代にわたす